



関東や関西でご活躍されている熊本出身や熊本にゆかりのある経済界の皆様から届いた、熊本への想いや提言などを掲載して好評をいただいている「ふるさとへの便り」。

今回は、熊本市出身で現在は、双日株式会社 代表取締役社長としてご活躍されている佐藤洋二さんをご寄稿くださいました。

## 二度の熊本生活

私は、終戦間もない昭和24年7月、熊本市の南に位置する古くから港町として栄えた川尻(現 熊本市南区川尻)で生まれました。父親の仕事の関係で、その後鹿児島、福岡、長崎と九州内を転々となりました。再び熊本

に戻ってきたのは、高校1年の終わりの時でした。転校先は熊本高校です。県内各地から優秀な生徒が集まる進学校で、転校した私にとっては学業の進み方が、通っていた長崎の高校と比べて全く異なっていましたので面喰らいました。例えば、長崎の高校では1年で生物、2年で化学、3年で物理と順に勉強しますが、熊本高校では1年から全科目をやっていたのです。そんなこともあり当初の成績は芳しくなく、啞然としたのを覚えていますし、「えらい高校に来

てしまった」というのが率直な感想でした。熊本高校では皆が自主的に学ぶという姿勢が身につけており、その後の大学進学・社会人人生においてもここで培ったものは大きいと感じる次第です。

日商岩井株式会社(現在の双日株式会社)に入社してからは、経理・ニューヨーク駐在・経営企画等の業務に従事し、昨年より社長を拝命し現在に至っております。弊社と熊本との関係で申しますと、歴史は古く、前身の一つである日商岩井時代の1973年に造船鋼材の加工、製品保管、搬入の機能を備えた有明スチールセンター株式会社を熊本県玉名郡長洲町に設立しました。同社は弊社の関係会社である株式会社メタルワンの子会社として、現在も造船品質の向

上に寄与する事業に従事しております。また、直近では熊本県球磨郡錦町にて太陽光発電事業に参入することを決定しました。昨今の地球温暖化を受け、低炭素社会の実現を目指す上で、再生可能エネルギーの導入は社会貢献にも寄与するものと考えております。また、少しでも熊本県の発展に貢献したいと考えております。

九州・熊本を人生の出発点として、名古屋・ニューヨーク・東京とそれぞれの地域で多くの方と接してまいりましたが、昨今の日本の経済界において、多くの熊本県出身・関連の方々が活躍されているのに改めて、驚きを覚えております。人気キャラクター「くまモン」の活躍にも負けず、これからも精進していきたくと考えております。

佐藤洋二さん  
(熊本市出身)

### 今月の送信者



双日 株式会社 代表取締役社長

### 経歴

- 昭和24年7月 熊本県熊本市生まれ
- 昭和48年4月 日商岩井株式会社 入社
- 平成16年4月 二チメン株式会社と日商岩井株式会社併合により双日株式会社に商号変更  
常務執行役員
- 平成17年4月 取締役CFO
- 平成24年4月 代表取締役社長

### 会社概要

- 社名：双日株式会社
- 本社：東京都千代田区
- 設立：2003年4月
- 資本金：1,603億円  
(2013年3月31日 現在)
- 連結売上高：3兆9,559億円  
(2013年3月期)
- 連結従業員数：15,963名  
(2013年3月期)

事業内容：総合商社。国内および海外と取引、事業投融資、事業運営等を行っており、機械、エネルギー・金属、化学品、生活産業などの多岐にわたる分野でグローバルに事業を展開。



▶ 故郷川尻の船着場